

目的

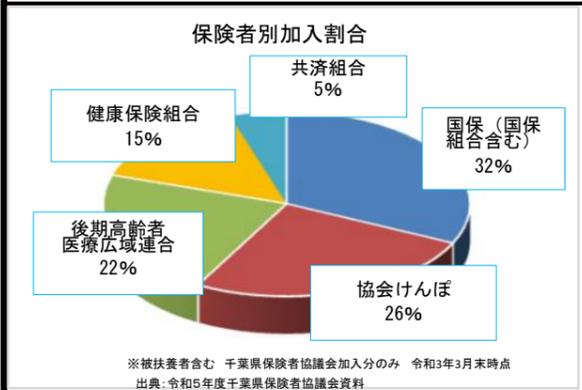
千葉県の重点課題である働く世代の健康づくりに向けて、従業員の健康づくりに取り組む事業所や企業を増やす「健康な職場づくり」を推進することで、働く世代の健康課題の改善を図り、健康ちば21（第3次）の総合目標である「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」の達成を目指す。

背景

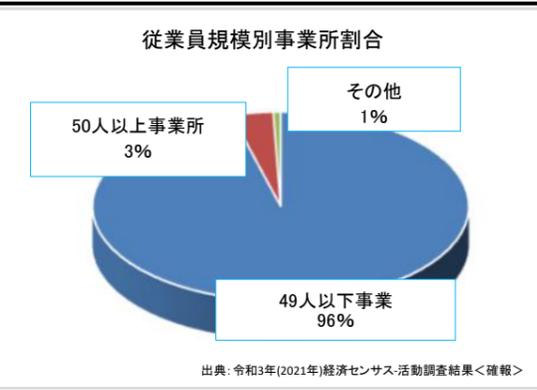
千葉県では、全国と同様に、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病による死亡が全体の5割を超え、特に40代からその割合が増加傾向にある。また、健康ちば21（第2次）の最終評価においては、働く世代の食習慣、運動習慣、睡眠習慣などに改善の余地があることが明らかになった。健康ちば21（第3次）では、企業との連携を強化し、産業保健活動の取組推進、事業所や企業が従業員への健康づくりの取組を推進するための支援を行う必要性を明記している。さらに働く世代に対して、ライフスタイルに合わせた取組を推進している。職場環境は働く世代の健康に大きく影響するため、健康な職場環境を作るために必要な支援を行うことで、働く世代の健康増進を推進していくことが重要である。

働く世代の実態

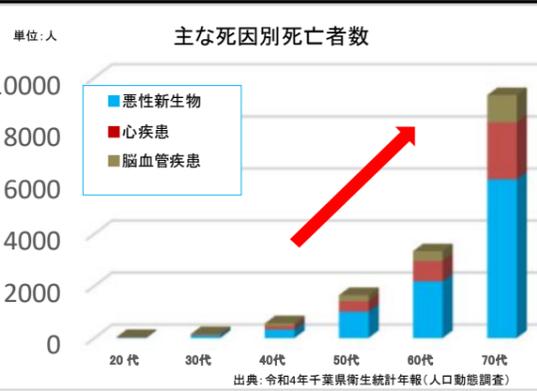
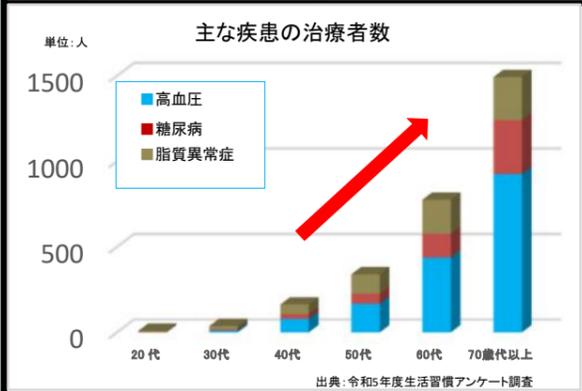
▶千葉県の健康保険の加入状況は、概ね以下の通り



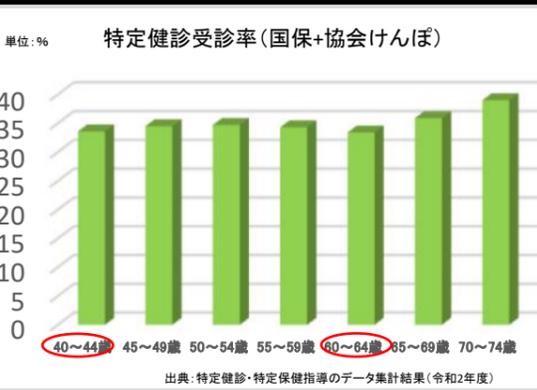
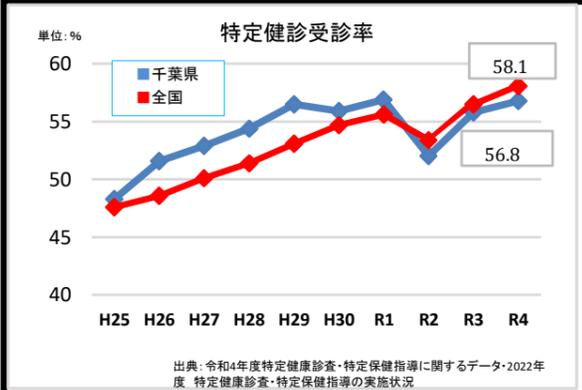
▶千葉県は従業員数が49人以下の事業所が96%



▶生活習慣病による治療・死亡は40代から増加



▶特定健診受診率は令和2年度以降、全国より低い。40～44歳・60～64歳が低く、その後増加



「健康ちば21（第3次）」に記載した働く世代の課題と働きかけ方針等（抜粋）

Table with 3 columns: Topic (e.g., Nutrition/Food, Physical Activity, Rest/Sleep, Smoking, Oral Health, Circulatory Diseases, Diabetes, CKD, Mental Health, Natural Environment, Accessibility, Life Course Approach), Policy/Action Plan, and Page Number (e.g., P51, P52, P55, P58, P59, P63, P66, P73, P74, P77, P80, P85, P86, P89, P91, P92, P94).

健康ちば地域・職域連携推進共同事業における取組方針

1 県民の健康状態等のデータ集積
現状：働く世代は、仕事や子育て、介護など、様々な役割を担い、自身の健康に配慮する時間が少ないため、生活の実態やライフスタイルに合わせた取組が必要である。
方針：医療保険者から特定健診・特定保健指導の実施結果データを収集し、地域別・年齢別・性別などの属性別、経年的に比較・分析・評価することで、働く世代の生活の実態や健康課題を明らかにする。これらのデータを、医療保険者との協働による健康施策につなげるための基礎資料とする。また、保健所や市町村等がこれらのデータを活用して対象者のニーズに即した効果的な健康増進施策を立案できるよう支援する。
2 健康な職場づくり推進の環境整備
現状：働く世代は、長時間労働やストレスにさらされやすく、健康への影響が懸念されている。また、事業所や企業が従業員への健康づくりの取組を推進するための支援が必要である。
方針：従業員の健康増進を図るには、個人の生活習慣の改善を促すことに加え、長時間労働の是正や多様な働き方の推進など、企業の健康的な職場づくりや産業保健活動を推進を支援していくことが重要である。
具体的には ①栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、喫煙等の健康づくりに関する定期的な情報配信
②従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業の具体的な事例を広く紹介し、より多くの企業が自発的に健康的な職場づくりに取り組む後押しとなる情報発信 等に取り組んでいく。